

## 諸 元 表

新型自動車番号	類別区分番号		
新型届出年月日	仕 様		
変更届出年月日			
車名及び型式	長 さ		12.150
トレクス PFV339CD	幅		2.490
車台の名称及び型式	高 さ		2.635
トレクス PFV339CD	輪 距 m	前 輪 後 輪	2.040
車体の名称及び型式	室内又は 荷台の内 m 側の寸法	長 さ	11.810
		幅	2.460
		高 さ	0.000
製作者等の氏名又は名称	荷台オフセット m		2.505
日本トレクス株式会社	車両重量 kg	前前軸重	1810
自動車の種別		前後軸重	
普通		後前軸重	1860
用途		後後軸重	1860 + 1860
貨物		計	7390
車体の形状	乗車定員 人		
セミトレーラ	最大積載量 kg		28600
軸 距 m	車両総重量 kg	前前軸重	10600
6.790+1.360+1.360 = 9.510		前後軸重	8460
		後前軸重	8465 + 8465
燃料の種類	最大安定傾斜角度	左	47 三菱 BDG-FV50JJR 連結時
		右	47 三菱 BDG-FV50JJR 連結時
原動機の種類	車輪配列		2.2.2
総排気量又は定各出力 L又はkw	タイヤ	前 輪	
		後 輪	385/65R22.5 160J

&lt;保安基準緩和項目&gt;

車両総重量 (第4条)



## 連結検討諸元一覧表

トレクス PFV339CD

項目	諸元値	備考
重心高 [Hi]	1184 (mm)	
発生制動力 [By <sub>3</sub> ]	168222 (N)	(空気圧 588 kPa)
エアタンク容積 [Vt]	36+36+36+36=144L	
エア配管部容積 [Vp]	1.5 (L)	
エアチャンバー容積合計 [VC]	0.4 × 6 = 2.4	



第2号様式

日本トレンクス株式会社

関自技 第3139号  
平成20年10月20日  
関東運輸局  
自動車技術安全部



改造概要等説明書 (改造自動車等審査結果通知書)

- 指示事項:
1. 本車両は車両総重量について基準値を必要とすること。
  2. 本試作は製造番号PFV339CD001.002の2台限りとする。
  3. 車台番号は、職種打刻を受けること。
  4. けん引車は三菱 PJ-FV50JHR (第5輪16.0t) で検討した。

主要諸元比較表 (試作車・組立車)

項目	標準車	改造車	標準車	改造車
車名	トレンクス		乗車定員人	28600
型式	PFV339CD		最大積載量 kg	10600
自動車の種別	普通		車両総重量 kg	8460
用途	貨物		後軸重 kg	8465
車体の形状	ゼンロー		計	35990
燃料の種類			最大安定	※46
原動機型式			傾斜角度	※46
総排気量 L			タイヤ	
長さ mm	11,550	12,150	前軸	385/65R22.5 1601
高さ mm	2,490	2,490	後軸	385/65R22.5 1601
	2,635	2,635		385/65R22.5 1601
軸距 mm	1,360 + 1,360	6,790 + 1,360	積車時	
		9,510	タイヤ	94.0
前軸距 mm			荷重割合	94.1
後軸距 mm			%	94.1
室内又は座席の寸法 mm			積車時前輪荷重割合	
前輪高さ mm	1810	1810	リヤ・オーバ・ハング	
後輪高さ mm	1860	1860	前軸	2.040
車両重量 kg	1860	1860	積車時前輪荷重割合	2.505
計	7390	7390	最小回転半径 m	※ 10.24

能力強度等検討書

制動力	馬力 - N 60 km/h	37.60 m	車軸強度 $\sigma_B/\sigma = 520/(2.5 \times 54.73) = 3.80 \geq 1.6$
	空気圧 588 kPa		車軸強度 $\sigma_B/\sigma = 550/(2.5 \times 129.10) = 1.70 \geq 1.6$
推進輪回転数	Nc/N	/	操縦装置強度 $\sigma_B/\sigma = - / - \geq 1.6$
推進輪強度	$\sigma_B/\sigma$	/	感知装置強度 $\sigma_B/\sigma = 1820/(2.5 \times 379.00) = 1.60 \geq 1.6$
			制動装置強度 $\sigma_B/\sigma = 49000 / 30616 = 1.60 \geq 1.6$
			運転装置強度 $\sigma_B/\sigma = 1000 / 624.44 = 1.60 \geq 1.6$

- 注1. (試作車・組立車)の欄には、該当するものを○で囲むこと。  
 注2. 能力検討値は、該当しないものは、省略したものには×を記入すること。  
 注3. ※印欄は三菱 PJ-FV50JHR 運転時の値をいふ。  
 注4. 制動力の距離の値は、常時制動試験のブレーキのみ制動する方法での補正測定値から、非積載時と積載時の数値の大きい方を記入した。

構造等の概要

目的	当該車両は、分割可能な重量物の安全輸送の為、船底型として新たに製作するものである。 道路運送車両の保安基準の改正 (平成8年9月 運輸省令第53号) に対応した制動装置を装着している。
車枠及び車体	主レールには高張力鋼をI形に溶接し、クロスメンバーにはH形鋼を、外レールにはみぞ型鋼を使用しており、全体の構造は梯子形である。 前部にはピックアッププレートを取付、その中央には連結用キングピンを備え後部下面には走行装置を取り付けている。
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	角パイプ製中間軸の両端にスピンドルを溶接組み付けした死軸式の車軸を車両後部にトリプルで使用している。 タイヤは、385/65R22.5 160Jを車輪で使用している。
操縦装置	
制動装置	(主制動装置) 圧縮空気を使用した内筋拡張式2シューアンカーピン形式のものでカムと、レバ機構によって半径方向に拡がり、ドラム内側を圧迫して制動をかける構造である。輪制御のA、B、Sを取り付けている。また、ブレーキライニングとブレーキドラムの隙間の隙間の自動調整装置 (オートアジャスタ) を装着している。 (駐車制動装置) ブレーキチャンパンに内蔵しているスプリングの張力によりチャンパンのロッドを押し、主制動装置を利用したスプリングブレーキ式である。 ラジャスロッドを使用しスプリングハンガー及びロッカーアームを介してトリプル軸に取り付けた半精重ね板ねわく及び車体を支持している。
懸衝装置	
連結装置	連結用キングピンを備えている。形状はJIS D 6602、材質はJIS G 4105、SCM440(クロムモリブデン鋼)である。
燃料装置	

注 該当する事項がない場合は、斜線で記入すること。